

開発事業地球温暖化対策計画

事業者の氏名 又は名称	小田急電鉄株式会社			
主たる事務所又は 事業所の所在地	東京都渋谷区代々木二丁目 28 番 12 号			
開発事業の名称	向ヶ丘遊園跡地利用計画			
開発事業を行う 土地の位置及び区域	川崎市多摩区長尾二丁目 342 番 21 号 他			
開発事業の目的	向ヶ丘遊園跡地を有効活用し、商業施設と温泉施設、自然体験施設等を新設する。本計画は、生田緑地内の施設をはじめとする地域資産の連携を促す施設や自然体験施設を設けることにより地域の活性化を図り、エリア価値の向上を目指すものである。			
工事の着手 予定年月日	2021年 10月			
工事の完了 予定年月日	2023年 10月			
開発事業の概要	区域面積	約 162,400 m ²		
	床面積	約 17,700 m ²		
主な予定建築物の内容	棟番号	用途	床面積	備考
	温-1	温泉施設	約 7,500 m ²	
	商-1	商業施設	約 2,100 m ²	
		その他	約 8,100 m ²	
			m ²	
			m ²	
	床面積の合計			約 17,700 m ²

(第2面)

温室効果ガスの排出の抑制等を図るため実施しようとする措置の内容	エネルギーの使用の合理化	<ul style="list-style-type: none"> エネルギー効率の高いコージェネレーションシステムを採用する。 設備機器については、導入可能な範囲で効率的な省エネルギー機器を選択し、エネルギー使用量の削減を図る。
	ヒートアイランド現象の緩和	<ul style="list-style-type: none"> 計画地内において、広葉樹二次林の斜面林の大部分を既存緑地として残すとともに、緑化地をできる限り確保し、地表面等の温度上昇の抑制を図る。 緑化地の効果が継続的に確保できるよう、適切に維持管理を行う。
	交通環境への配慮	<ul style="list-style-type: none"> 適正規模の駐車場、駐輪場を設置する。 施設利用者に対し、ホームページ等で路線バスや電車等の公共交通機関の利用を促す。
	緑地の保全と緑化の推進	<ul style="list-style-type: none"> 広葉樹二次林の斜面林の大部分を既存緑地として残し、緑の保全を図る。 計画地内において緑化を行い、緑の回復・育成を図る。
	工事に係る配慮	<ul style="list-style-type: none"> 施工計画の最適化を図り、工程の平準化に努めることで、工事用車両による搬出入の時期が集中しないよう、計画的な運行に努める。 工事用車両は、できる限り最新の低公害・低燃費車の使用に努める。 工事用車両は、アイドリングストップ等のエコドライブの実施を指導する。
	その他	
再生可能エネルギー源の利用	検討結果	<input type="checkbox"/> 導入する <input checked="" type="checkbox"/> 導入しない
	導入機器	

(第3面)

	棟番号	評価の目標
特定建築物の 評価の目標	温-1	総合評価 B+以上
	商-1	総合評価 B+以上
備 考		

- 備考 1 用途の欄は、次から当該予定建築物の主たる用途を記入してください。
[事務所/学校/物販店/飲食店/集会所/工場/病院/ホテル/住宅/その他]
- 2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。
- 3 特定建築物の評価の目標については、予定建築物が川崎市公害防止等生活環境の保全に関する条例(平成11年 川崎市条例第50号)第127条の4第1項の特定建築物に該当する場合、同項第5号に規定する環境性能の評価の目標について記載してください。